



KUBOXT TIMES

第7号
2023.8
社内報



TOP MESSAGE

7月完成！中日本FACTORY 正面より

～60年という伝統の上に 次世代への挑戦～

社長インタビュー



代表取締役社長 久保 満

●これまで社長が大切にしてきたことは？
創業者が逝去してちょうど半年。企業の寿命は30年と言われますが、なぜ60年も商売を続けさせて頂けたのか色々と思いを巡らす時に、お客様という助け舟があったからはもちろんのこと、子供の頃から創業者が話してくれた「理

●当社が創業60周年という「還暦」を迎えました
60年前、(1963年、昭和38年)に私の両親がこの会社を創業した当時、私は4歳、副社長は1歳か2歳になったばかり。1956年の経済白書には「もはや戦後ではない」の言葉がおどりと、「戦後からの回復」から「近代化へ更なる成長」へ勢いに満ちていた時代。弱冠20代の若き創業者である父と母は、泥と汗にまみれながら、苦勞はしていましたが夢と希望を持ち続け、苦勞を苦勞とも思わず懸命に働いている姿が印象的です。大学を卒業した私は、そんな創業者の助けがしたいという思いの中当社で働き続け42年。私も還暦を過ぎてしまいました。



ALL-IN 事業の全てが密接にリンク。

念」があったからこそ今があると信じていますし、これからもそうあるべきと確信しています。創業者の理念とは次の4点です。

- ①「物事には全て基本がある。基本を忘れるな」
- ②「何事にも誠を尽くせ」
- ③「世のため、人のために」
- ④「皆が仲良く」

要は、「金儲けのテクニックを磨け」ではなく、「人柄で社会の役に立て」という教え。おかげで、幾多の難関を超えてこれたと思います。

●60期の経営方針を教えてください

59期は速報値ですが、売上高16億5000万円（前年比107%）となり、少しずつコロナの影響から脱却しつつある中、2024年4月からはドライバーの時間外労働の上限規制が適用されます。いわゆる「2024年問題」です。社員の皆さんの働き方を変えなければなりません。「働き方改革」のもと、働く時間は減らしながら、労働環境の改善や待ち時間の短縮をすすめ業務の生産性を高めます。また、皆さんのスキルを伸ばしサービスの品質を向上させることで、お客様に喜んでいただき適正な運賃をいただき安定した経営を行う。そのしくみを高めていく期になると考えています。

「業務のほとんどがメーカー様との『直接取引』であること」が当社の特徴であり長所です。それに加え、中日本ファクトリー（岐阜県）の誕生で、広島・岡山・岐阜の物流拠点すべてが自前の設備となり、新たなご要望にお応えできる体制が整いました。「社会の役に立つ」という創業者の考えに、「社員の幸せの実現」の考

えをプラスして事業展開し、人材を育成しながら「選ばれた企業」へ邁進します。



60期の経営方針は次の通りです。

- 「中日本FACTORY」を基礎から構築します。フマキラー（株）様の物流センターとして安全・正確な業務フローを確立します。新たなお客様のニーズにも「そこまでやる」の理念でお応えします。
- 2024年問題に対応する為、労務管理をより緻密に実施できるシステムを導入し、業務の効率化をすすめます。
- ドライバーの健康や自己管理、働き方をサポートし、法令遵守（コンプライアンス）を履行します。
- 業務の選択判断は、地域の皆様や社会に貢献していることを最優先とします。
- デジタル人材を育成するため外部研修を実施し、DX化の仕組みづくりを行います。
- サービスの品質向上とともに、運賃の見直しや燃料サーチャージの導入を促進します。
- リスクリングや研修制度を推進し社員の皆さんのスキルを高め、がんばった人が活躍し、評価される環境整備を行います。



●拠点や業務内容が増加する中、今後の人材育成についてお話をください

ありがたいことに、当社は22・23年ともに新卒採用者を迎え、24年卒も内定者がおられるなど当社に対する注目度も高まっています。当社は「人が集まる会社」が目標です。人とは「お客様」であり「社員」です。安全な輸送と、運送の領域を超える部門にチャレンジする姿が、ビジネス面でも採用面でも同業他社との差別化を更に進めていると考えています。

わたしは当社の社風の中、社会の役に立ちたい、働きがいや生活水準を高めたいと願う人が集まる会社を実現したいと考えています。誰でも出来る仕事は価格で選ばれますが、「KUBOX Tの仕事は技術力と人柄で選ばれ価格競争は実在しない」というサービスを目指すべきと考えています。そのキーワードは「人×理念」です。もちろん、設備も必要ですが最も重要になってくるのが個人の「人柄」なのです。自分のできることを広げマルチスキル化を目指す素直な人柄を実現するため、資格取得支援制度の拡充や教育投資は惜しみません。「人数より心数」という採用理念は、企業を理解し、熱意をもった「心数」が集い活躍できる職場を創りたいからなのです。

●10年後にむけての取り組みは？

創業60周年は還暦という節目ではありますが、ただの通過点です。次の70年、そして100年を迎える為には、理念を追求し社会から必要とされる企業であり続けることが必須です。「利を以って利をなさず、儀を以って利をなす。」（※儀とは正しいことを積み重ねて行くこと）。文化の衰退は国さえも滅びます。創業者精神と伝統の中で積み重なってきた文化を忘れることなく、社員の皆さんで一歩一歩確実に漸進し企業文化を追求してもらいたいと考えています。



KUBOX T 創業60周年記念事業の一環として、創業者の想いを伝えるべく、創業者の御子息が、創業の原点である物流現場にて、社員と対話する機会を設けました。

会社見学

随時受付（東京・名古屋・大阪）

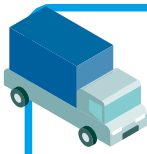
TEL: 082-277-0480 (内線)

Mail: contact@kubox.net

※お問い合わせ先は、各拠点の営業担当までお願いいたします。

60期 全社 年間安全目標	
バック事故ゼロ！「ピカリと光るバック三原則の実行」 ～そこまでやる！ あんぜん・あいさつ・ありがとう～	
60期 グループ別 年間安全目標	
グループ	目標
A	地切合図の徹底・確認で事故防止
B	危険予測（KY）運転の実施
C	車間3秒、危険回避できる車間距離
D	交差点での徐行運転と安全確認の徹底
E	車輪止めを、どんなときも「真っ先にまっすぐ装着」
F	車・現場のまわり 進入前に歩いて確認
G	交差点進入、周囲の安全確認徹底
H	指差呼称による安全確認の実施
岡山	早めの減速、車間距離確保で事故回避
滋賀	右左折時、巻き込み確認等の確認作業の徹底

徹底した安全確認で、付加価値のある業務を行いましょう！



特集

【物流の2024年問題】 「社員、顧客、社会に選ばれる物流会社に」



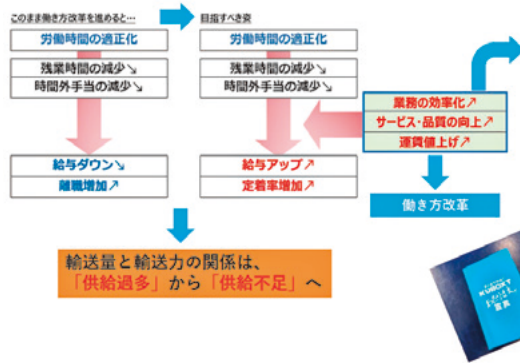
2018年、働き方改革関連法が成立し、2019年より全産業を対象に施行。5年間の猶予を与えられていた運送業についても、2024年から罰則付きの時間外労働の上限規制（年間960時間）が導入されることになり、さまざまな問題が想定されています。

特に「時間外労働の上限規制」によりドライバー1人当たりの走行距離が短くなり、長距離でモノが運べなくなるといわれ、運送会社の売上や利益の減少、ドライバー不足、荷主企業の運賃上昇などにつながると危惧されており、2030年には現在の35%の荷物が運べなくなる可能性があるといわれています。

当社は、「安全かつ確実に付加価値ある輸送や作業の実施」、「ドライバーが安心して働くことができる環境」をさらに追求し信頼を高め、社員・顧客・社会に対する「三方良し」を実現します。

【2024年問題】対応で目指すべき姿

ただ「はこび」だけでは、2024年問題は乗り越えられない



株式会社 KUBOXT が行う対応例

- ① 荷主との荷待ち時間の改善・運賃交渉
- ② 附帯業務の別建てでの料金請求の実施
- ③ 運行時間の短縮～高速道路の効果的利用～
- ④ ドライバーの高齢化に対する再雇用促進
- ⑤ 若年層や女性のドライバーの雇用促進
- ⑥ ドライバーの離職防止とキャリアパス構築
- ⑦ 賃金上昇のため給与体系の見直し
- ⑧ 労働環境の整備と福利厚生の充実
- ⑨ DX化による【見える化】と生産性向上
- ⑩ 自社の差別化と発信力の強化 など

株式会社
KUBOXT

令和6年4月より適用予定です。

トラック運転者の「改善基準告示」が改正されます。（厚生労働省発行資料より）

1年、1か月の拘束時間	1年：3,300時間以内 1か月：284時間以内	【例外】労使協定により、次のとおり延長可（①②を満たす必要あり） 1年：3,400時間以内 1か月：310時間以内（年6か月まで） ① 284時間超は連続3か月まで ② 1か月の時間外・休日労働時間数が100時間未満となるよう努める
1日の拘束時間	13時間以内（上限15時間、14時間超は週2回までが目安）	【例外】宿泊を伴う長距離貨物運送の場合 ^(※1) 、16時間まで延長可（週2回まで） ※1：1週間における運行がすべて長距離貨物運送（一の運行の走行距離が450km以上の貨物運送）で、一の運行における休息期間が住所外の場合
1日の休息期間	継続11時間以上与えるよう努めることを基本とし、9時間を下回らない	【例外】宿泊を伴う長距離貨物運送の場合 ^(※1) 、継続8時間以上（週2回まで） 休息期間のいずれかが9時間を下回る場合は、運行終了後に継続12時間以上の休息期間を与える
運転時間	2日平均1日：9時間以内 2週平均1週：44時間以内	
連続運転時間	4時間以内 運転の中断時には、原則として休憩を与える（1回おおよね連続10分以上、合計30分以上） 10分未満の運転の中断は、3回以上連続しない	【例外】SA・PA等に駐車できないことにより、やむを得ず4時間を超える場合、4時間30分まで延長可



〔自動車整備工場〕
KUBOXT ME NEWS
● 会社案内を製作しました

自動車産業は、目まぐるしいスピードで変化を続けています。当社は、「整備業はサービス業である」という考え方からOS（お客様の満足）とブランディングを進めています。お客様の「愛車のかかりつけガレージ」になりたい。そんなあふれる想いを込めた「会社案内」。ぜひご覧ください。



● 岐阜県に新しい物流拠点「中日本FACTORY」が完成しました

岐阜県揖斐郡大野町「テクノパーク大野」の敷地32,548平方メートルに、大型物流拠点「中日本ファクトリー」が完成しました。さまざまな高速道路と連結する東海環状自動車道が全線開通することを見込み、名古屋港をはじめ東海・北陸・関東地方をターゲットとするハブ拠点として開設。全天候型営業倉庫、危険物倉庫、天井クレーン倉庫、コンテナヤードも装備しています。また、事務所棟は旭化成へーベルハウスで建築。2階にはドライバーのリビングや寝室もあり、太陽光発電も採用しています。新拠点誕生により滋賀営業所時の167%の売上を見込んでいます。

(詳しくは、パンフレットを製作していますのでお申し付けください)

※2023年9月16日(土) 開所式・竣工披露

※2023年9月末を以って滋賀営業所(滋賀県長浜市)は閉鎖いたします。



全天候型大庇(ひさし)



コンテナヤード(ドッグレベラー付)



全景



危険物倉庫



天井クレーン付倉庫



営業倉庫1

● 岡山市と「防災協定」を締結しました

BCP対策として当社岡山営業所に配備した燃料コンボルトタンク内の軽油を、防災支援の緊急車両に提供する「災害時における軽油の供給に関する協定」を、岡山市と締結しました。

当社所有のコンボルト型タンクは、コンボルトジャパン(株)(沖縄県うるま市)が日本で唯一製造している燃料タンク。防油堤が不要なため設置が容易で、耐衝撃性が高く、土壌環境への配慮や安全性の高さが特徴です。地域の安全に貢献したいという考えから締結に至りました。



● 大野町と「環境保全協定」を締結しました

大野町と当社は環境保全協定を締結しました。締結式には、大野町長・副町長のほか、地元区長様、その他報道機関が出席する中、当社の事業計画などをご説明し、社長から感謝の意と決意が述べられました。その後、中日本ファクトリーの内部視察をしていただきました。



～同日には竣工式も～



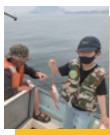
● 熱中症対策をしましょう



～対策例～

- 水分・塩分を十分に
- 作業時間の工夫
- 空調服(支給)の着用
- 毎日の健康管理の確認 など

釣り部誕生?

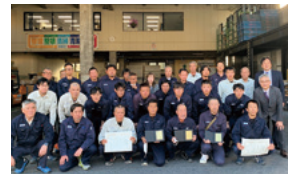


倉橋で、日頃の忙しさを忘れて糸を垂れてみませんか?

● 表彰を受けました



～創業60周年～
(広島商工会議所様)より



～優良事業所・優良ドライバー表彰～
(旭化成ホームズ様)より

● 広島ホームテレビ

「ZEBRA STOP HIROSHIMA」の活動に賛同します

～横断歩道ではストップ!～

ゼブラ・ストップ!(前方の「ゼ」、プレーキの「ブ」、ライトの「ラ」の3つを取って、横断歩道ではストップすること)で、交通事故抑止を呼びかける運動に賛同しています。

(社名つきCMも流れました。)

